

平成28年度 第1回市政モニターアンケート集計結果

高島での働き方・仕事づくりに関するアンケート

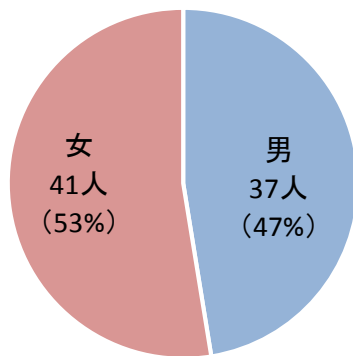
○アンケート期間：平成28年8月7日～平成28年8月22日

○アンケート回答者数：78人（設問により、無回答もあり）

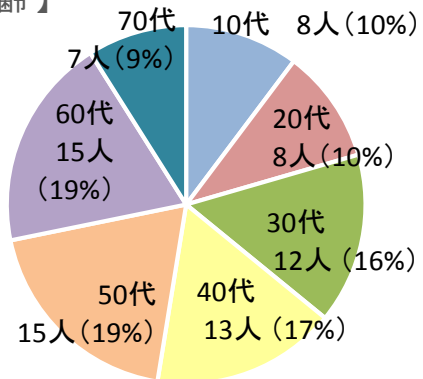
● 働き方について

Q 1 回答者の属性について

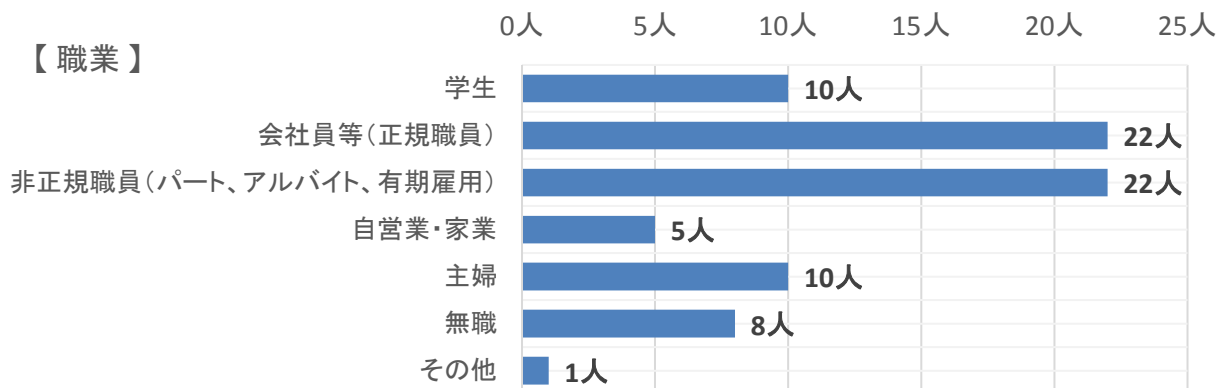
【性別】



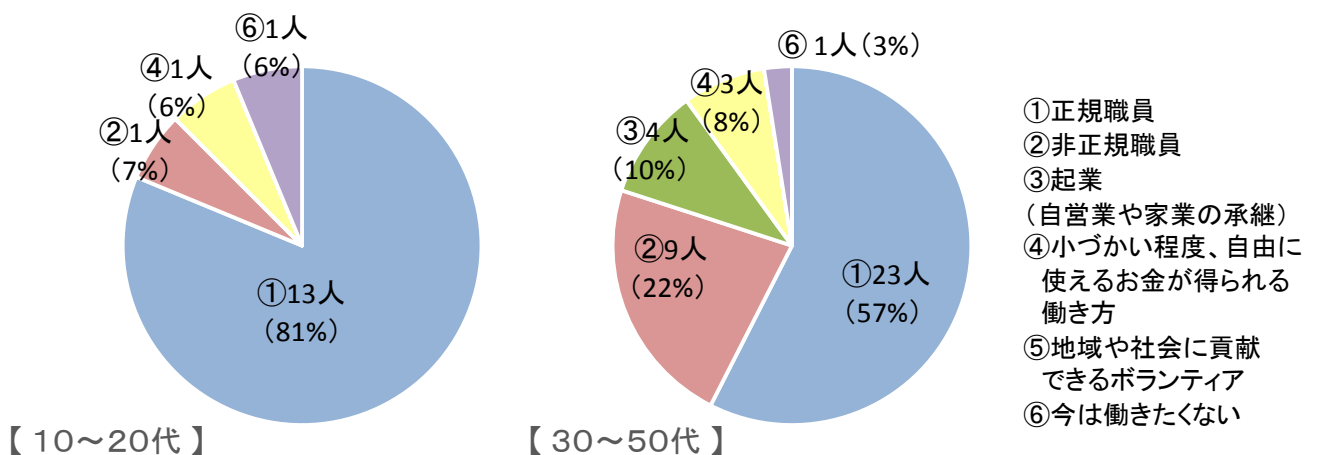
【年齢】



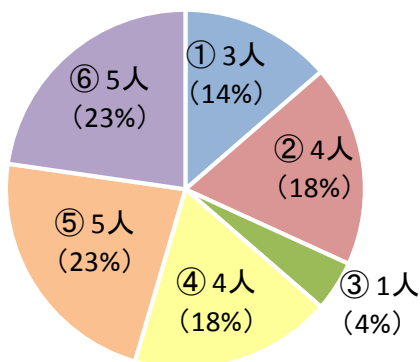
【職業】



Q 2 あなたの現在の年齢や生活環境において、理想の働き方としてあてはまるものを選んでください。学生の方は、卒業後の進路として理想的なものを選んでください。



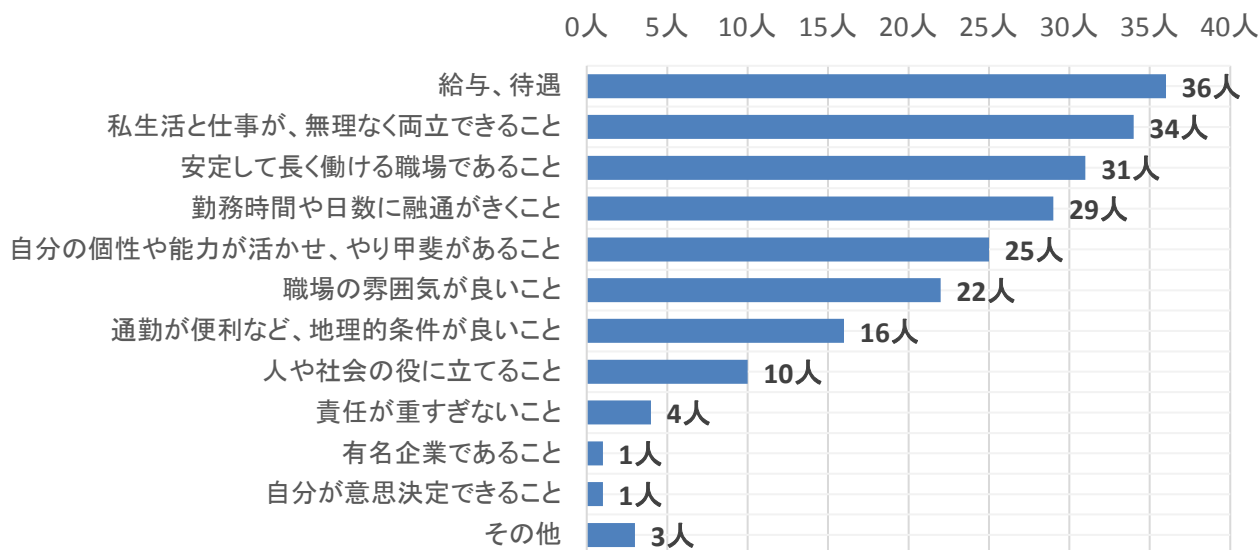
Q2 あなたの現在の年齢や生活環境において、理想の働き方としてあてはまるものを選んでください。学生の方は、卒業後の進路として理想的なものを選んでください。



- ① 正規職員
- ② 非正規職員
- ③ 起業 (自営業や家業の承継)
- ④ 小づかい程度、自由に使えるお金が得られる働き方
- ⑤ 地域や社会に貢献できるボランティア
- ⑥ 今は働きたくない

【60代以上】

Q3 あなたが、働く上で重視することは何ですか（3つまで選択）。



- ・働くつもりがない
- ・希望がある仕事
- ・自分の好きなことができること

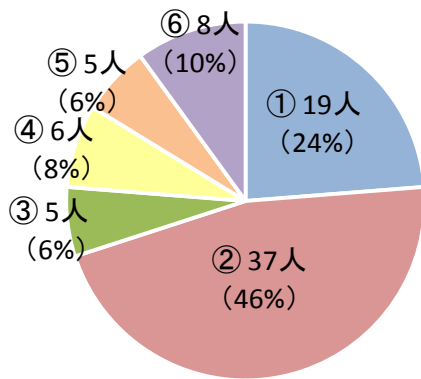
【男性の意見・ベスト3】

- ① 給与、待遇 20人 (19.8%)
- ② 安定して長く働ける職場であること 16人 (15.8%)
- ③ ①自分の個性や能力が活かせる、やり甲斐があること 15人 (14.9%)
- ③ 私生活と仕事、無理なく両立できること 13人 (12.9%)

【女性の意見・ベスト3】

- ① 私生活と仕事、無理なく両立できること 21人 (18.9%)
- ① ①勤務時間や日数に融通がきくこと 21人 (18.9%)
- ② 給与、待遇 16人 (14.4%)
- ③ 安定して長く働ける職場であること 15人 (13.5%)
- ③ ③職場の雰囲気が良いこと 15人 (13.5%)

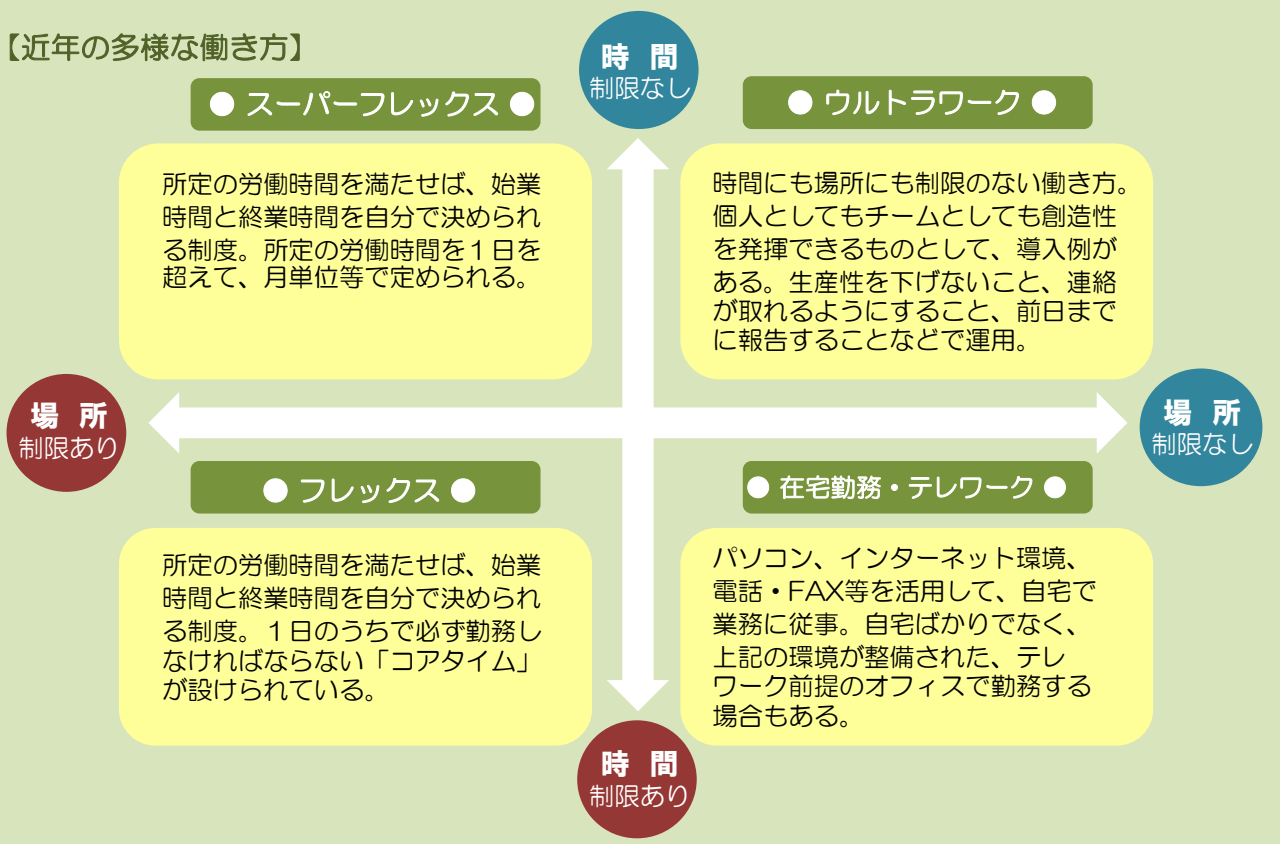
Q4 働く上で、どのような勤務形態があれば良いと思いますか？



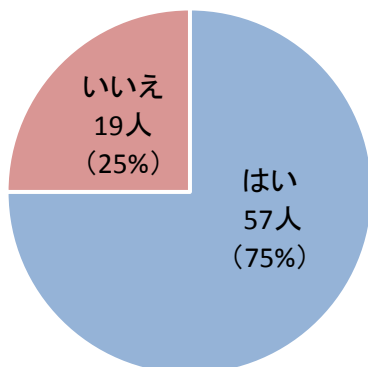
- ①短時間勤務
- ②フレックス制
- ③ウルトラワーク
- ④在宅勤務やテレワーク
- ⑤副業や週末起業
- ⑥その他
 - ・出来高制
 - ・自給自足の生活に必要なだけの労働
 - ・働けるだけでありがたい
 - ・働くつもりがない

※2つ選択した人=3名、無選択=1名

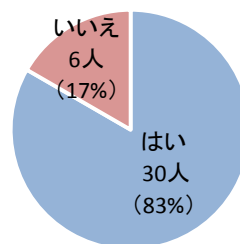
【近年の多様な働き方】



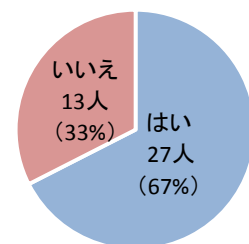
Q5 定年まで働きたいと思いますか（または働きましたか）？



【男性のみ】

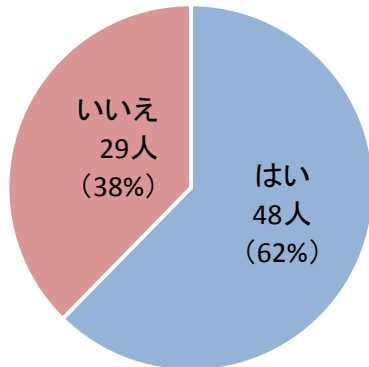


【女性のみ】

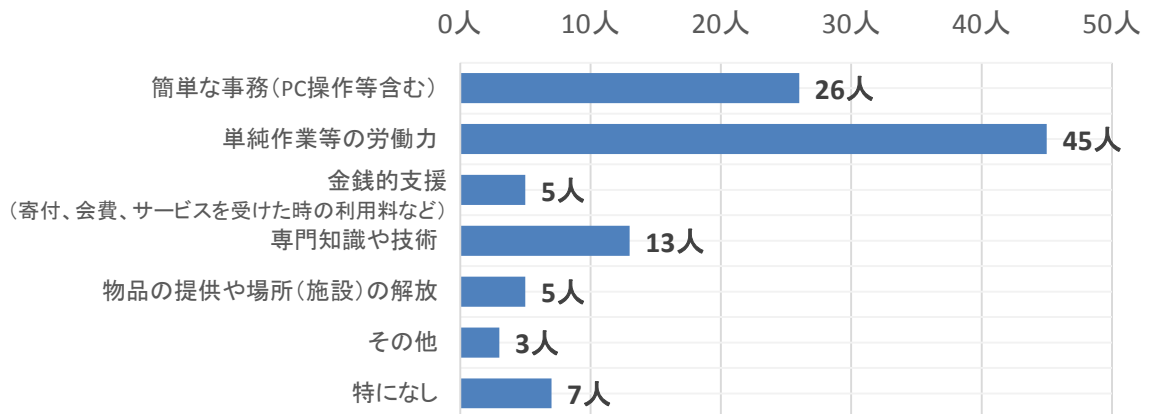


● 地域活動について

Q 6 ボランティア活動に興味がありますか？



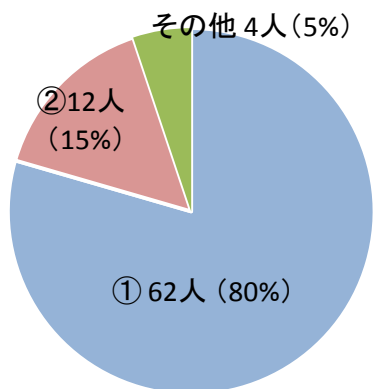
Q 7 あなたが、地域活動のために提供できるものは何ですか？（複数回答可）



【専門知識や技術、その他 の具体的記載例】

送迎運転、幼稚園教諭免許、医療・看護職、薬学、公衆衛生
介護職、木材加工・林業、土木建設、建築物環境衛生管理、
日本語教育、珠算、地域イベント協力、災害時避難所での頭髪カット、
布地の提供 等

Q 8 車が運転できない人の買い物支援のために量販店までの移送を行ったり、単身高齢者宅の草刈を行うなど、地域内の個人の困りごとを住民同士で助け合ってサービス提供する場合に、少額のサービス料を徴収することについてどう思いますか（いずれか1つに○）？

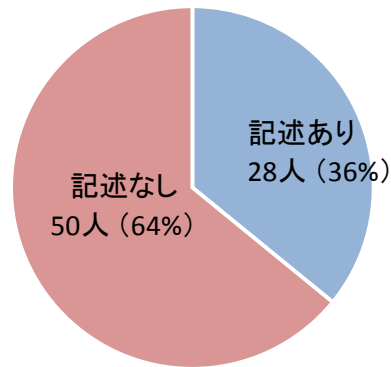


- ①サービスを長く続けるためには、一定必要。
- ②善意による活動に対してお金をやり取りすることには抵抗がある。

【その他】

- ・高齢者社会の助け合いのためのルールづくりが必要。
- ・事故責任等を考えると積極的には支援しにくい

Q9 日常生活を営む上で、こんな困りごとを誰かに助けてほしいと思うことがあれば、自由にお書きください。



分野	記述内容
医療	産婦人科が少ない。
福祉	要支援1だが、ヘルパーさんに週3回以上来てもらいたい。ヘルパーさんが来ない日は、食事が満足に摂れない。
	持病のため社会に対してblankがあるが、小中高とサポートしてくれる機関がもっと充実していたら社会復帰が早まると思う。
	介護。主人と意見が異なり悩んでいる。
	地域内での高齢世帯の見守り、認知症高齢者の徘徊。
子育て	子どもが小さい時に、1時間程度預かってくれるところがあると良い。
	子どもの塾への送り迎え。
	子育てと仕事の両立。
教育	学費の支援。
環境	近所に草刈をしないうところがあるため、夏は雑草で困っている。
	大規模な草刈など。体力的、技術的に苦手なこと。
	住宅街に除雪車が入らず、高齢者には負担でもあるため、雪かき、屋根雪おろしで困っている。
	集落内の美化、空き家や放置車両等。
	資源ごみを常時回収できる場所があると良い。
交通	近所のネコによる糞の被害に困っている。
	民間バスの料金が安い。バスの便数と路線を増やしてほしい。
	冬季に道路凍結で運転ができないこと。
	堅田～京都への通勤・通学を考慮し、朝7時台、夜7時台の新快速を増便してほしい。
	特に夜9時以降の湖西線の便数が少ない。
	京都発朽木行バスの最終便が19時台だが、21時台ぐらいまでであると良い。
	駅前ロータリーの送迎車両のマナー向上と待機車両のスペースづくり。
	運転ができなくなったら、日常の買い物、通院、自由な移動に困ると思う。
通院や買い物などの乗降介助。	
地域	都市部に住んでいたときより、区の行事が多いこと。
	地域の方との交流機会がなく、災害時の避難訓練や情報交換ができていない。隣人同士で助け合っていけるのか分からない。
防犯	市街地の夜が暗い。外灯を増やしてほしい。

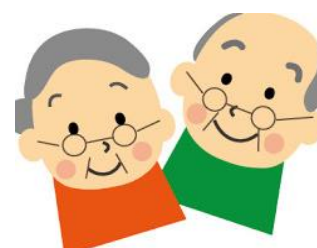
● 高齢者や女性の働き方について

Q10 市では、高齢化率（人口に占める65歳以上人口の割合）が32%となり、3人に1人が高齢者です。こうした高齢者が、高島の地域活性化と自らのやり甲斐のために担える仕事には、どのようなものがあると思いますか？自由にお書きください。

分野	記述内容
生産出荷	野菜づくりや花の栽培。グループで野菜づくりをして、県外に出荷。
	道の駅等への野菜や果実、竹製品や木工品の出荷販売。
	家庭菜園の余剰分の活用。
	農林漁業に関わること。
	新鮮で低農薬の野菜や果実、もちや味噌、惣菜などの調理と販売。

Q10 市では、高齢化率（人口に占める65歳以上人口の割合）が32%となり、3人に1人が高齢者です。こうした高齢者が、高島の地域活性化と自らのやり甲斐のために担える仕事には、どのようなものがあると思いますか？自由にお書きください。

分野	記述内容
美化	草刈、清掃。駅等の公共施設の清掃作業。
	街路等の花壇整備や管理。桜の手入れ等、身体を動かす仕事。
	河川や水路整備。
観光	高齢者が観光振興に従事することで、自らの健康維持につなげる。
子ども	保育園児、幼稚園児との交流(昔あそび、虫捕り、農業体験、野菜づくり、行事の手伝い)。
	昔あそびの伝承。
	託児、学童保育支援。
	登下校時のスクールガード。子どもの見守り。
	山村留学の受け入れ。
高齢者支援	高齢者の話し相手。老人福祉施設における話し相手。
	高齢者支援(草刈、剪定、掃除、買い物等の送迎、調理や食事の宅配、高齢者見守り)。
	経験を活かした日常生活の支え合い。近所同士の無理のない支え合い。
人材登録派遣	植木の剪定、障子貼り、草刈、掃除等、シルバー人材センターに登録。
	経験を活かせる仕事を人材登録して、仕事を公的に斡旋する。
	有償ボランティアを増やす。
	現役時代の仕事に通じるものが一番良いと思う。高齢者で働く意欲のある人をまずはまとめる団体や場が必要ではないか。
	企業や地域ニーズを整理し、対応できる人材を増やす。
行政雇用	地区の福祉推進委員、健康推進委員に、市が高齢者を雇ってはどうか。
	働く意欲と資格がある方を、市内パトロールや学校用務員等に派遣、雇用する。
継承	生活に根付いている伝統食や伝統産業の継承。教室や講座があっても良いと思う。
	発酵食品を使った料理教室、漬物や梅干し、鮎ずしづくりなどを開催する。
相談	これまでに培った人間関係のアドバイスや接客の大切さを皆で話し合うなど。
地域	草の根ハウスなどで地域の集まりに参加する。
	高齢者に地区行事を有償で担ってもらう(若者が苦にならないよう)。
	自治会館で高齢者と交流しながら、一時の仕事に従事できるような区民カフェをつくり、食材の栽培や調理、給仕の仕事をつくってはどうか。
	手作りの簡単な料理を持ち寄り、小さな規模でもつどい話ができる場があれば、認知症も抑制できると思う。
講座	高齢者のためのイベントや趣味の会の充実。
	アイリッシュパークの講座を増やす。
起業	さまざまな知識を持つ高齢者に意見を聞き、施設で地域おこし事業を展開する。
	高齢者に「私ができること」のアンケートをとる。
働き方	1日単位でできること。
	職種に関係なく、いつまでも働ける場所と雇用があること。
	これまでの経験や資格を活かせる仕事
	65歳雇止めをもう少し伸ばしても良いと思う。年齢の縛りはずすこと。 高齢者の仕事は作り出していかなければならない。



Q11 女性の働き方を取り巻く課題には、出産や育児で一時的にキャリアが寸断されること、働きながら育児をする際の保育の問題（放課後児童の学童保育、病児保育、保育園の待機児童の問題）などがあげられますが、高島で女性の活躍を推進するためには、どうしたことが必要だと思いますか。自由にお書きください。

分野	記述内容
保育等の充実	学童保育、託児所の充実。PR強化。
	学童保育の質の向上。
	学童保育の料金を下げて、預けやすい環境をつくる。学童保育利用時の条件の公平化や価格の統一。
	延長保育、病児保育の充実。
	保育料を下げる。
	待機児童解消。
	行政補助による私立保育園の増設。
	保育を担う団体の創設。
	第2子以降の出産時に、長子を預けられる環境づくり。
	1歳から子どもを預けられる場所を増やす。
	安心して通学できる環境整備、スクールバス等。
	子どもたちの下校時間に、各家庭に派遣されるシッターがあると良い。
	保育園や学校の近くに、待機児童が気軽に行けるような施設があると良い。
	職場近くの保育園に子どもを預けられるといい。
安心して通学できる環境整備、スクールバス等の整備。	
産休 育休	産休、育休の推進。男性も含めて取得しやすい環境づくり。
	育休手当の充実。
	短時間雇用の職場があること。都会では、出産しても正社員のままで時短勤務が可能だが、高島ではそうした場がない。
周囲の理解	夫や家族の理解。
	勤務時間の調整など、企業側の理解醸成。
	企業の環境整備に対して、行政が補助。
	企業内保育の実施。
高齢者 ・地域の サポート	保育士不足に元気なお年寄りの力を借りる。
	育児に高齢者のサポートがあること。子育て中の母親が地域の方から知恵やサポートを得られる環境整備。
	子どもと高齢者がいつでも遊べるように民家を活用する。
	地域内で子どもが預けられること。
	子どもが地域で遊び、学び、地域の人が見守るシステムをつくる。
	小さい子どもを預けていると、地域でも「小さい時から預けられてかわいそうに」と言われることがあり、それが心理的負担になることがある。
2番目の子どもが学童保育を嫌がったこともあり、地域の公園、公民館、草の根ハウス等で子どもたちが夕方集まる場所に高齢者の見守り隊があれば良いと思う。	
女性が、ひとりで問題を抱え込まないような相談機関を設置する。	
女性の働き方	女性が高収入を得られる仕事や企業が必要。
	働ける場所を増やす。
	出産、育児後の女性を正社員登用する企業を支援。
	働き方の確保。正社員、パート、アルバイト等働き方に合わせた保育施策の充実。
女性活躍の意識醸成	育休中の女性の人材派遣制度のようなものが必要ではないか。
	市役所でまちづくり意欲や能力のある若手女子職員を積極的に採用し、育成する。
	女性の中堅職員を管理職に積極登用し、市内事業所の意識を高める。
	市役所がリーダー事業所として、女性登用や窓口担当のフレックス勤務を率先、実行する。
	女性が活躍している姿を広報等でも取り上げる。
	女性が働くことに関する研修会やフォーラムを定期的で開催し、それを大きく広報する。
女性は男性の補佐役という考え方を変える職場の意識改革。	
医療	市内に産婦人科を増やす。

参考： 女性の子育てを応援する市内機関について



1. 高島市ファミリー・サポート・センター たすけあい高島

- 概要：地域内で、子育てを手伝ってほしい方と、お手伝いできる方が助け合う仕組みです。 ※会員登録制、登録無料
- こんなときに：外出時などの子どもの預かり。保育園・幼稚園・認定こども園や学童保育のお迎え、託児など。
- 対象となる子ども：0歳～中学3年生 ※病気のお子さんはお預かりできません。

問合せ： 高島市ファミリー・サポート・センターたすけあい高島 事務局

(新旭駅西ショッピングセンター・エスパ内)

TEL：0740-33-7805 ※火～土 10:00～17:00 (日・月・祝・年末年始は休業)

2. 高島市子育て支援グループ「サンサン」

- こんなときに：講演会や、保育園・幼稚園・認定こども園の行事などでの託児。
- 対象となる子ども：おおむね生後3か月以上(小学6年生まで)。
※病気やケガをしているお子さんはお預かりできません。
- 料金：保育サポーター1人あたり1時間 900円
(延長30分以下、450円。30分超過は1時間料金。)

問合せ： 高島市子育て支援グループ「サンサン」

TEL：0740-25-5840

3. 病児保育室「おひさま」

- こんなときに：お子さんが病気の時、保護者が仕事の都合により家庭で保育することが困難な場合に、高島市民病院内の病児保育室でお子さんを一時的にお預かりするサービスです。
- 対象となる子ども：保護者が市内在住か市内事業所に勤務している、生後6か月～小学3年生までのお子さん。
※1日4名の定員があります。
- 料金：1日あたり1人 2,000円(市外在住者は4,000円)
- 利用方法：事前登録制です。利用の前日までに病児保育室に仮予約の電話が必要です。



問合せ： 高島市病児保育室

TEL：080-5706-9555(保育室専用)

高島市の子育て情報はこちらも
ご覧ください！

たかしま結びと育ち

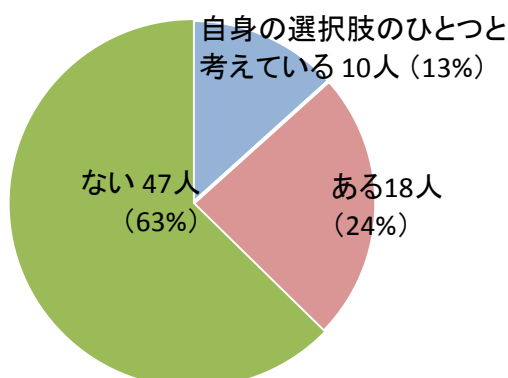
検索

高島市少子化対策・子育てサイト

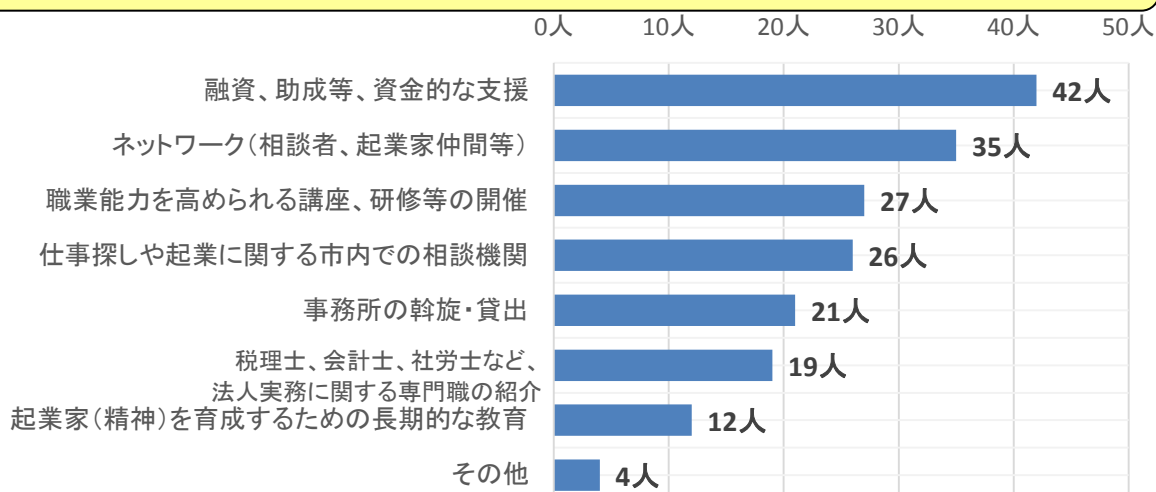
たかしま結びと育ちの応援団

● 起業・仕事おこしについて

Q 1 2 起業に関心がありますか。



Q 1 3 高島の起業支援として、どのようなものが必要だと思いますか？（3つまで選択可）



Q 1 4 高島の地域資源を活かした商品やサービスの開発を行うとしたら、どのようなものに可能性があると思いますか？自由にお書きください。

分野	記述内容
イベント	国体開催。 ワールドランなどが市民に知られていない。今あるものをもっと有効活用する。宣伝が伝わってこない。
	ワールドラン等のイベントを通して高島市の魅力をPRすると良い。
観光	キャンプや、流行のグランピングをオシャレに魅せられれば若者が集まりやすい。
	インターネット社会のため、オシャレな写真が撮れるスポットに若い女性が興味あると思う。
	写真を撮るのが好きな方向けに、高島の景色の良いところを巡るツアー(白鬚神社、畑の棚田、風車村、メタセコイア並木等)。
	メタセコイア並木等、写真を撮影している人が年々増えている印象があり、もう少し景観整備をすれば良いと思う。素晴らしい景色をPRすれば、地域活性化につながると思う。
	高島の名所の観光ツアー、キャンプ場や琵琶湖を活用したレジャーやスポーツ。 山、湖等、もっと手軽なキャンプ施設等が増えるとよい。

Q14 高島の地域資源を活かした商品やサービスの開発を行うとしたら、どのようなものに可能性があると思いますか？自由にお書きください。

分野	記述内容
観光	夏は琵琶湖、冬は雪山を活用したレジャーをリーズナブルに、気軽に提供し、市内外の人をもっと利用できると良い。
	自然を活かしたレジャー施設が必要。
	琵琶湖の水がきれいで京都にも近いので、観光・レジャー施設のさらなる整備が必要。
	自然や環境を活かした観光振興事業、琵琶湖岸の活用。
	自然、観光、レジャーに外国人をもっと誘致すること。
	山と湖がコンパクトにまとまった自然を活用し、観光・レジャー・自然学習の場を設け、県外の人々を呼び込む。
	観光客を呼べる美しい湖岸にする。ビワイチ誘客に対するサービス活動の充実。
	レジャー施設、高島ブランドをつくる。
	高島の四季を活かした観光、レジャー、それを活用した食、産業振興。
	自然や河川を利用した観光。
自然	高島市民も認識できていない観光資源がたくさんある。
	今津町のザゼンソウなど、観光資源をPRすべき。
	自然資源、自然活用をもっとPRする。
	びわ湖水源の里をPRする。
	森林セラピーロード等の山林や公園活用。
	小入峠の雲海は、他地域ではなかなか見られないものだと思う。
	自然を活かして若年層の観光客を誘客する企画を行う。
	自然を活かしたものでしか、他地域に対抗できない
	四季折々の風景に引かれて移住した。ホテル、鮎、鮒ずし、近江牛、雪、田んぼ等魅力一杯だと思う。
	趣味の釣りで遠方の方とも接する機会が多く、高島の自然に感動しておられる方が多いと思う。
山と湖を連動させたスポーツ、四季折々のスポーツ、遠浅の湖を活かせるレジャー。	
自然を活かして、信州で言う軽井沢のような避暑地にする。	
駅からの交通利便性を向上し、グラウンド、高原、琵琶湖を活用する。	
高島の自然の良さをアピール。他県に知ってもらうこと。	
景観	琵琶湖周辺をもっと整備すること。
	新旭町の川端など、昔ながらのものを気軽に見学できるようにしてはどうか。
産業	全体のまちづくり、町並みを作る。古き良き暮らし。他にない良さで、古くさくない、美しい町並みをつくる。
	リゾートホテル誘致を地域活性化につなげてほしい。
農業	市内の伝統産業、織物業が発展すればと願っている。
	朽木の木工芸品は素晴らしい。つくる姿から見せること。
	耕作放棄地や高齢者労力を活用した農林水産業。
	椎茸や農作物の開発、栽培。
食	自然環境を活かした農林水産業。
	休耕田を活用した県外観光客への宿泊家庭農園施設や、安全・安心の農作物ブランドの確立。
	農作物も道の駅だけでなく、土日等に出展できる機会があると良い。
交通	鮎魚飯(スープと魚を冷凍保存し、通年使えるように)。
	簡単につくられる発酵食品のレシピ等をPRする。
高齢者	発酵食を中心に、昔からつくられてきたおぼんざいづくりを体験する活動。
	湖西線の利便性が向上したことで、市外通勤や流出が増えている。
子ども	魅力的な観光スポットを巡りやすくする交通の利便性向上。
	自然豊かな高島での老人福祉施設。
医療	木製遊具のある大きな公園を設置する。
	市民の信頼を得られる医療の充実。
環境	草木の伐採や、美化等に不満のある方も多い。
	スポーツや農林水産業振興における大学連携。
大学	子どもと高齢者が協力して農作物を育てたり、一緒に食べたりする場を作ってはどうか。
	地域おこしは全員でしなければいけない。

Q14 高島の地域資源を活かした商品やサービスの開発を行うとしたら、どのようなものに可能性があると思いますか？自由にお書きください。

分野	記述内容
ブランド	高島のブランド化。高島屋と提携した高島織物の商品PR。百貨店で特産品を販売し、全国や世界に発信する。
他	長浜は大河で盛り上がったが、高島は全然盛り上がらなかった。 高島でしかできない遊び、サービスを考える。 自らの仕事で生活を支える組織体制が必要。 PRを強化すること。 自然、健康、福祉を結びつけた取り組み。